



学校給食アドバイザー会議を開催しました

10月18日に令和4年度第1回南国市学校給食アドバイザー会議を開催しました。この会議は、南国市における学校給食の更なるレベルアップと食育を推進するため、令和3年に設置したものです。食育や学校給食に関する知識および経験を有する3名にアドバイザーを委嘱しています。

今回の会議では、事務局(学校教育課)から、令和3年度の学校給食の取組みと食材費高騰への対応状況を報告しました。

アドバイザーからは、「学校給食は郷土愛を育てるためのもの」「価格も大事だが地元企業も大切に」「生産者の名前や顔がわかるような取組を」「様々な食材を取り入れて南国市産の価値を再発見できるように」「毎日満足感をもって給食が食べられることが大事」「給食費の見直しもやむを得ないのでは」といったご意見をいただきました。

南国市の学校給食では、これまでの歴史ある取組を今後も継承し、いただいたご意見を参考にしながら更なるレベルアップに取組みます。

引き続き紙面で紹介していきますので、楽しみに。

■問い合わせ/学校教育課 学校給食係 ☎088-863-2566



西森アドバイザー



三谷アドバイザー

アドバイザー氏名(所属等)
三谷 英子(RKC調理製菓専門学校常任顧問)
浅野 聡子(株式会社Story Crew代表取締役)
※浅野アドバイザーはオンライン出席
西森 善郎(前 高知県学校給食会理事長)



文部科学省職員が、南国市で学びました

9月5日から9月22日まで、南国市教育委員会が文部科学省の職員を受け入れる「地方教育行政実務研修」を実施しました。この研修は、文部科学省1～3年目の職員が必ず受ける研修で、南国市では以前から積極的に研修先として職員の受け入れをしてきました。小林さんは採用4年目ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で研修が中止されていたため、このたびやっと実施できました。

南国市の教育施設を10校以上訪れ、授業の様子を見学したり、給食を食べたり、MIARE!や歴史民俗資料館などにも行きました。普段は国全体を見て仕事をすることが多いのですが、同じ市内に大規模校と小規模校、山の中の学校、沿岸部の学校などいろいろな学校があることがわかり、1つの市内でも事情が違うという事を肌で感じる事ができました。今回の経験を持ち帰り、仕事に生かしていきたいと思います。

いくつかの学校では、キャリア教育の授業を行いました。南国市の子どもたちはとても明るく、きちんとあいさつをしてくれたのが印象的でした。一人ひとりが自分たちの良さを伸ばし、周りの人の支援を受けながら、どんどん成長してほしいと感じました。そして地元への愛着を持って、広い世界で活躍してもらえるようになると思います。

私は静岡県出身で、高知には今回初めて来ましたが、高知出身の人と一緒に仕事をしていることもあり、研修先が南国市に決まった時からとても楽しみにしていました。やっぱりカツオのたたきをはじめとした魚が美味しかったです。今度はプライベートで、高知に遊びに来たいと思います。

文部科学省 初等中等教育局
初等中等教育企画課 教育公務員係長 小林 寛和 さん

■問い合わせ/学校教育課学校教育指導係 ☎088-880-6568



長寿支援課からのお知らせ

いくつになっても、元気になれる!

自分の力で、自分を元気にする事業を行いました!



体験してくださった皆さんと
関係者で修了の記念撮影!
良い笑顔ですね!

どんな事業なの?

これまで皆さんが大切にしてきた「元の生活」「望む暮らし」を取り戻すことを目標に、自宅での過ごし方や、取り組むべき課題について、リハビリ専門職との面談を中心とした3ヶ月間の短期集中予防型事業です。一人ひとりに合わせた内容をオーダーメイド!



専門職との面談。
この面談が「元の生活」を
取り戻すキープポイント!



グループ
ディスカッションを
交えながら、地域で元気に
暮らすために大事なことも
勉強します!



できたの木



「できたこと」をメモして
参加者みんなで共有!
みんなで頑張るので
やる気も続く♪



今回はモデル事業としての実施でしたが、参加者皆さんが元気になりました! 機材を使うなどといった特別なことはしていません。元々ある「やる気」を引き出し、継続するだけです。今後医療機関や介護保険事業所の方々と共に協力して、できるだけ早く短期集中予防型事業を提供できるよう努力していきます!!

■問い合わせ/南国市長寿支援課 ☎088-880-6556